

宿泊約款

第1条 適用範囲

- 1、当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
- 2、当ホテルが法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

第2条 宿泊契約の申込み

- 1、当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
 - (1) 宿泊者の氏名、住所、電話番号、性別、国籍、職業、勤務先
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2、宿泊客が、宿泊中に前項第(2)号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

第3条 宿泊契約の成立

- 1、宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 2、前項の規定により宿泊契約が成立したときは、契約期間中の宿泊料及び諸税の全額相当分、または当ホテルが定める金額を、申込金として、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
- 3、申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第17条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、過不足があれば、宿泊客の出発の際又は当ホテルが指定したとき、フロントにおいて精算していただきます。
- 4、第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するにあたり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

第4条 申込金の支払いを要しないこととする特約

- 1、前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後、同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 2、宿泊契約の申込みを承諾するにあたり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

第5条 保証金

- 1、宿泊期間に応じて、当ホテルは宿泊客から保証金をお預かり頂く場合がございます。
- 2、宿泊客は、当ホテルが定める金額の保証金を指定する日までにお支払い頂きます。
- 3、お預かりする保証金は、別途定める場合を除き、チェックアウト後に全額返却致します。但し、宿泊客に未

納代金がある場合、または客室にて宿泊客による客観的に故意、過失と認められる毀損が生じていた場合は、当ホテルは保証金から損害賠償額を差し引いて返却するものとします。

第6条 宿泊契約締結の拒否

1、当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室(員)により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとする者が、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(平成4年3月1日施行)による指定暴力団および指定暴力団員等(以下「暴力団」および「暴力団員」とする)またはその関係者、その他反社会的勢力であるとき。
- (5) 宿泊しようとする者が暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人、その他団体であるとき。
- (6) 宿泊しようとする者が法人で、その役員のうち暴力団員に該当する者があるとき。
- (7) 宿泊しようとする者が他の宿泊者に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (8) 宿泊しようとする者が宿泊施設もしくは宿泊施設職員(従業員)に対し、暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求を行ない、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき、またはかつて同様な行為を行なったと認められるとき。
- (9) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
- (10) 宿泊に関し合理的な範囲を超えるサービス、負担等を求められたとき。
- (11) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (12) 宿泊しようとする者が泥酔等により他の宿泊客に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。
- (13) 他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動があるとき。(東京都条例の規定に準拠)

第7条 宿泊客の契約解除権

1、宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2、当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるにあたって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。

3、当ホテルは、理由に関わらず、宿泊客が宿泊日当日の午後12時になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

第8条 当ホテルの契約解除権

1、当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
- (2) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。
- (3) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
- (4) 宿泊しようとする者が泥酔等により他の宿泊客に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動があるとき。(東京都条例の規定に準拠)

- (5) 「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(平成 4 年 3 月 1 日施行)による指定暴力団及び指定暴力団員等(以下「暴力団」及び「暴力団員」とする)またはその関係者、その他反社会勢力であるとき。
- (6) 暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人、その他団体であるとき。
- (7) 法人で、その役員のうちに暴力団員に該当する者があるとき。
- (8) 他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (9) 宿泊施設もしくは宿泊施設職員(従業員)に対し、暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求を行い、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき、またはかつて同様な行為を行ったと認められるとき。
- (10) 当ホテルが定める利用規則の禁止事項に従わないとき。
- (11) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項に従わないとき。

2、当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

第9条 宿泊の登録

1、宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- (1) 宿泊客の氏名、年令、性別、住所及び職業
- (2) 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日 パスポートコピー
- (3) 出発日及び出発予定時刻
- (4) その他当ホテルが必要と認める事項

2、宿泊客が第 12 条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等当ホテルが認めた通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを提示していただきます。

第10条 客室の使用時間

1、宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、15:00 から翌日の 11:00 までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

第11条 利用規則の遵守

1、宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に提示した利用規則に従っていただきます。

第12条 フロント営業時間

1、当ホテルでは、フロントの営業時間を下記のとおりとさせていただきます。

- (1) フロント営業時間・・・7:30~23:00

2、上記の時間以外では、各種貸出を含め一切のサービスのご提供は致しませんのでご了承ください。

第13条 外来訪問客との面会

- 1、当ホテルでは、宿泊客以外の客室への入室をお断りします。
- 2、外来訪問者との面会はフロントロビーに限らせて頂きます。

第14条 チェックイン・チェックアウトタイム

1、当ホテルのチェックイン及びチェックアウトの時間は次の通りとします。

(1) チェックイン・・・15:00~24:00

(2) チェックアウト・・・11:00

2、当ホテルは、午前 11 時以降のチェックアウトに対し下記の通り追加料金を申し受けます。

(1) 13 時まで・・・1,000 円/時間(税込み)

(2) 13 時以降・・・当日のレートで一泊分の料金を頂戴致しますので、ご注意ください。

※但し、当日の予約状況によりご希望に沿えない場合もございます。

第 15 条 料金の支払い

1、宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第 1 に掲げるところによります。

2、第 3 条に定める申込金を前項の宿泊料金に充当した後、支払残額があった場合の精算は、通貨又は当ホテルが認めたこれに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求したとき、フロントにて行っていただきます。

3、当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

第 16 条 当ホテルの責任

1、当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2、当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

第 17 条 契約した客室の提供ができないときの取扱い

1、当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。

2、当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

第 18 条 鍵の取扱い

当ホテルの客室用の鍵を紛失された場合、10,000 円(税込み)の追加費用を申し受けます。

第 19 条 ご喫煙

当ホテルは館内すべて禁煙となります。室内での喫煙が確認された場合、追加費用 25,000 円(税込み)を申し受けます。

第 20 条 寄託物等の取扱い

1、当ホテルでは、宿泊客の物品のお預かりは一切できません。貴重品を含め、お客様の責任において管理をお願い致します。

2、宿泊客が、客室内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品について、当ホテルの故意又は過失により、客室内において滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き 5

万円を限度としてその損害を賠償します。

第 21 条 宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

1、宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。

2、宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡するとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、現金並びに貴金属については、発見日を含め 7 日間保管し、その後最寄りの警察に届けるものとし、その他の物品については 30 日間の保管の上廃棄させて頂きます。ただし、食品については、品質保持上妥当な期間のみの保管とし、その期間を超過した場合は当ホテルの判断により廃棄させていただきます。

3、前 2 項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第 1 項の場合にあっては前条第 1 項の規定に、前項の場合にあっては同条第 2 項の規定に準じるものとします。

第 22 条 宿泊客の責任

宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

第 23 条 免責事項

1、当ホテル内の共用施設内における宿泊客の一切の物品の紛失、滅失、毀損等について当ホテルは一切の責任を負いません。

2、ホテル内での利用者間または利用者を起因として生じたすべてのトラブル等や被害等について当ホテルは一切の責任を負いません。

3、当ホテル内からのコンピューター通信のご利用にあたりましては、宿泊客ご自身の責任にて行うものいたします。コンピューター通信のご利用中にシステム障害その他の理由によりサービスが中断し、その結果利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当ホテルは一切の責任を負いません。また、コンピューター通信のご利用に際し、当ホテルが不適切と判断したお客様の行為により、当ホテルおよび第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

第 24 条 個人情報の取り扱い

1. 宿泊客より開示された個人情報は、当ホテル、当ホテルのアセット・アドバイザー及びそれらの関係会社並びに当ホテルの運営受託会社に対して適用される経済制裁関連諸法令を含む法令の順守を目的として取得され、本目的の範囲内において利用されます。また、本目的のために個人情報の一部又は全部が当ホテルグループに提供される場合があります。

第 25 条 管轄及び準拠法

本約款に関して生じる一切の紛争については、当ホテルの所在地を管轄する日本の裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

第 26 条 違約金

(第 7 条第 2 項関係)

ご予約頂いた宿泊料金の総額から下記の通りの違約金を申し受けます。

①1人～9人でご宿泊の場合

(違約金) 前日から当日または不泊：宿泊料の100%

②10人以上でご宿泊の場合

(違約金) 宿泊日の7日前から4日前：宿泊料の50%

宿泊日の3日前から当日又は不泊：宿泊料の100%

1, %はご予約頂いた宿泊料金の総額に対する違約金の比率です。

2, 契約日数が短縮した場合は、その日数に関わりなく短縮した期間について、上記比率に則った違約金を収受します。

3, 契約期間中の契約日数の短縮により、適用されるレートが変更となった場合は、変更後のレートを契約初日までさかのぼって適用し、その差額を収受します。

4, 宿泊予約サイトや宿泊プランなどにより別途違約金の記載がある場合は、そちらが優先されます。

H O T E L G R A P H Y ^{NEZU}

TERMS & CONDITIONS

Article 1 Scope of Application

The Accommodation Contract and related contracts to be concluded between our Hotel and the Guest shall be based on this Contract under the following terms and conditions of our Contract.

Any matter not stipulated in this Contract shall be governed by ordinance and generally established practice.

When our Hotel has agreed to conclude a Special Contract without conflicting with ordinance and established practice, the Special Contract shall prevail.

Article 2 Application for an Accommodation Contract

The Guest who intends to apply to our Hotel for an Accommodation Contract will be required to provide our Hotel with the following particulars:

- (1) Name, address, telephone number, sex, nationality, place of employment, and occupation of the Guest
- (2) Date(s) scheduled for an overnight stay and the estimated time of arrival.
- (3) Other information considered necessary by our Hotel.

In the case that the Guest has requested, during his/her stay, an extension of an overnight stay beyond the date described in the preceding Paragraph (2) above, our Hotel shall handle his/her request as a new application for an Accommodation Contract which has been made at the point when the request has been made.

Article 3 Conclusion, etc. of the Accommodation Contract

The Accommodation Contract shall be considered to have been concluded at the point when our Hotel has accepted the application described in the preceding Article, unless our Hotel has certified that our Hotel has not accepted the application.

When the Accommodation Contract has been concluded under the provisions of the preceding Paragraph, the Application Money payable for the period scheduled for an overnight stay as prescribed by our Hotel shall be paid by the date set by us.

The Application Money shall first be applied to the final payment of the Accommodation Charge payable, and when the circumstances requiring application of the provisions of Article 6 and Article 17 have arisen, to penalty and then to compensation money in this order. If there is any balance left, it will be calculated at the front desk at the point when the Guest departs from our Hotel.

In the case that the Application Money described in Paragraph 2 of this Article has not been paid by the date set by us as stipulated in the same Paragraph, the Accommodation Contract shall become invalid, but limited only to the case where our Hotel has notified the Guest to that effect when designating the due day for payment of the Application Money.

Article 4 Special Contract Requiring Non-Payment of the Application Money

Notwithstanding the provisions of the preceding Article, Paragraph 2, there are cases where our Hotel accept a Special Contract which does not require payment of the Application Money specified in the same Paragraph after the conclusion of the Contract.

When accepting an application for an Accommodation Contract, in the case that our Hotel fails to request payment of the Application Money specified in the preceding Article, Paragraph 2, and/or in the case that it fails to prescribe the due date for payment of the Application Money, the Special Contract described in the preceding Paragraph shall be considered to have been accepted.

Article 5 Deposit

Our Hotel may collect a deposit from the Guest depending on the length of the stay.

The Guest shall pay the deposit stipulated by our Hotel by the date designated by our Hotel.

Any deposit deposited by the Guest will be refunded in full after check-out unless otherwise specified. However, our Hotel shall refund the amount of the deposit after deducting damages in the event the Guest has any outstanding payment or in the event of any damage or negligence of the Guest in the guest room.

Article 6 Refusal of the Conclusion of the Accommodation Contract

1. Our Hotel may refuse to accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following circumstances:

- (1) When the application for accommodation is not based on this Contract.
- (2) When there is no room available due to full occupancy.
- (3) When the Guest seeking accommodation is considered likely to behave in violation of the provisions of the ordinance, public order or good public morals.
- (4) When the Guest seeking accommodation is a designated organized crime group or a member of a designated organized crime group prescribed in the "Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Member" (Effective March 1, 1992) (hereinafter referred to as "Organized Crime Group" and "Organized Crime Group Member") or a person related thereto or another anti-social force.
- (5) When the Guest seeking accommodation is a corporation or other organization whose business activities are controlled by an Organized Crime Group or an Organized Crime Group Member.
- (6) When the Guest seeking accommodation is a corporation having an officer who is an Organized Crime Group Member.
- (7) When the Guest seeking accommodation behaves extremely in a mischievous way against other hotel guests.
- (8) When the Guest seeking accommodation is deemed to have engaged in acts of violence, intimidation or extortion, have made intimidating and undue demands or demands that impose an unreasonable burden, or have engaged in acts analogous thereto against our Hotel and/or our Hotel staff (employees).

- (9) When the Guest seeking accommodation is clearly considered to be a patient with an infectious disease.
- (10) When the Guest seeking accommodation demands any service burden beyond reasonable purview.
- (11) When act of God, trouble with facilities, and other unavoidable causes prevent the Guest seeking accommodation from staying at our Hotel.
- (12) When the Guest seeking accommodation could cause annoyance to other guests as a result of being intoxicated, etc.
- (13) When the behavior of the Guest seeking accommodation otherwise causes other guests significant annoyance
(in accordance with the provisions of the Tokyo Metropolitan Government ordinance).

Article 7 The Guest's Right to Cancel the Contract

The Guest may request our Hotel to cancel the Accommodation Contract.

In the case that the Guest has canceled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes attributable to him/her (which is the case when our Hotel has requested payment of the Application Money by prescribing the due date for such payment under the provision of Article 3, Paragraph 2, except in the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract prior to such payment), payment of penalty shall be required as specified in the attached Schedule II, but in the case that our Hotel has accepted a Special Contract described in Article 4, Paragraph 1, this shall be applied only to the case where our Hotel has notified the Guest of his/her responsibility to pay a penalty for cancellation of the Contract when accepting the Special Contract.

In the case that the Guest does not arrive by 11 p.m. on the day of an overnight stay with or without cause, the Accommodation Contract concerned may be considered to have been cancelled by the Guest and will be handled accordingly.

Article 8 The Right of Our Hotel to Cancel the Contract

1. Our Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following circumstances:

- (1) When the Guest is considered likely to behave in violation of the provisions of the ordinance, public order or good public morals, or he/she is considered to have behaved in such a manner.
- (2) When the Guest seeking accommodation is clearly considered to be a patient with an infectious disease.
- (3) When act of God, trouble with facilities, and other unavoidable causes prevent the Guest seeking accommodation from staying at our Hotel.
- (4) When the Guest seeking accommodation could cause annoyance to other guest as a result of being intoxicated, etc., or when the behavior of the Guest seeking accommodation otherwise causes other guests significant annoyance (in accordance with the provisions of the Tokyo Metropolitan Government ordinance).
- (5) When the Guest seeking accommodation is a designated organized crime group or a member of a designated organized crime group prescribed in the "Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime

Group Member" (Effective March 1, 1992) (hereinafter referred to as "Organized Crime Group" and "Organized Crime Group Member") or a person related thereto or another anti-social force.

(6) When the Guest seeking accommodation is a corporation or other organization whose business activities are controlled by an Organized Crime Group or an Organized Crime Group Member.

(7) When the Guest seeking accommodation is a corporation having an officer who is an Organized Crime Group Member.

(8) When the Guest seeking accommodation behaves extremely in a mischievous way against other hotel guests.

(9) When the Guest seeking accommodation is deemed to have engaged in acts of violence, intimidation or extortion, have made intimidating and undue demands or demands that impose an unreasonable burden, or have engaged in acts analogous thereto against our Hotel and/or our Hotel staff (employees).

(10) When the Guest seeking accommodation does not comply the prohibited matters prescribed in the Rules of Use of our Hotel.

(11) When the Guest smokes in bed or vandalizes fire protection facilities, or does not comply with the matters prohibited by the Rules of Use prescribed by our Hotel.

2. In cases where our Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, charges for accommodation service, etc. which have not yet been offered to the Guest shall not be receivable.

Article 9 Registration of Accommodation

The Guest will be required to register the following particulars at the front desk of our Hotel

(1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest.

(2) Nationality, passport number, place entered and date entered, in the case of a foreign guest.

(3) Scheduled date and time of departure.

(4) Other particulars considered necessary by our Hotel.

In the case that the Guest intends to pay the charges described in Article 12 by using such means in place of currency as traveler's checks, accommodation coupons, credit card, etc., he/she will be required to show them at the time of registration described in the preceding Paragraph.

Article 10 Time Allowed for Use of the Guest room

1. The time allowed for the Guest to use the guest room of our Hotel shall be from 15 pm till 10 am of the following morning, except when the Guest stays for more than one night in succession, in which case the Guest may use the guest room all day except the day of arrival and the day of departure.

Article 11 Compliance of the Rules of Use of the Hotel

1. While staying in our Hotel, the Guest will be required to comply with the Rules of Use posted inside our Hotel as prescribed by our Hotel.

Article 12 Front Desk Business Hours

1. The business hours of our Hotel front desk shall be as follows:

(1) Front desk business hours... 07:30 to 23:00.

2. Please note that our Hotel does not provide services, including rental services, outside the above business hours.

Article 13 Meeting with Non-Hotel guests

Only Guests are permitted to enter guest rooms in our Hotel.

Meetings with Non-Hotel guests shall be restricted to the front lobby.

Article 14 Check-in and Check-Out Times

The Hotel's check-in and check-out times shall be as follows:

(1) Check-in... 15:00 to 24:00

(2) Check-out... 11:00

Check-out after 11:00 will incur the following additional charges 1,000 yen per hour (included tax)

*Please note that late check-out may not be available depending on the vacancy situation.

Article 15 Payment of Charges

The breakdown of the accommodation charge, etc. payable by the Guest shall be as listed in the attached Schedule I.

Any balance left after the Application Money set forth in Article 3 has been applied to the Accommodation Charge referred to in the preceding Paragraph should be paid in currency or by other alternative means acceptable by our Hotel at the front desk at the point when the Guest departs from our Hotel or upon request of our Hotel.

In the case that the Guest has not stayed at our Hotel at his/her discretion even after we have offered the guest room to the Guest and made it available for him/her to use, the Accommodation Charge will still be charged.

Article 16 Responsibility of Our Hotel

In the case that our Hotel has inflicted damage on the Guest in the course of fulfilling the Accommodation Contract and related Contracts or by our non-performance of these Contracts, our Hotel shall compensate for said damage, unless the damage has been caused due to reasons not attributable to our Hotel.

Our Hotel is covered by the Hotel liability insurance to cope with emergencies in the case of fire, etc.

Article 17 Handling In Case the Guest Room Contracted Is Not Available

Should the guest room contracted for the Guest under the Accommodation Contract become unavailable for him/her, our Hotel shall try to offer other accommodation facilities under the same conditions as the original Accommodation Contract as far as possible, subject to the consent of the Guest concerned.

Notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, should our Hotel be unable to offer other accommodation facilities to the Guest, our Hotel shall pay to him/her a compensation charge equivalent to the penalty, which will be applied to the amount of the compensable damage. However, in cases where there is no reason attributable to our Hotel for not being able to offer the guest room, our Hotel shall not pay the compensation charge.

Article 18 Handling of Keys

Loss of the Hotel's guest room key will incur an additional charge of 10,000 yen (incl. tax).

Article 19 Smoking

Smoking is prohibited inside our Hotel building. The Guest confirmed to have violated this rule will incur an additional charge of 25,000 yen (incl. tax).

Article 20 Handling of Deposited Articles, etc.

Our Hotel does not accept the deposit of articles by guests. The Guest is asked to manage his/her valuables on his/her own responsibility.

Our Hotel shall compensate the Guest for damages for any loss or damage of the articles, cash or valuables brought into a guest room by the Guest arising out of the intentional acts or negligence of our Hotel. However, for articles of which the nature and value has not been reported in advance by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest up to a maximum of 50,000 yen except in the case of the intentional acts or gross negligence of our Hotel.

Article 21 Custody of the Baggage or Personal Belongings of the Guest

When the baggage of the Guest has arrived at our Hotel prior to his/her arrival, our Hotel will keep it subject to our agreement given prior to its arrival, and will hand it over to the Guest at the time when he/she checks in at the front desk.

In the case that the baggage or personal belongings of the Guest are found misplaced after he/she has checked out, our Hotel shall ask the owner of such items for his/her instructions when the owner has been identified. However, when there are no instructions from the owner or the owner has not been identified, our Hotel shall keep them for seven (7) days including the day when they have been found, and shall deliver them to a police station near our Hotel after a lapse of seven (7) days and the other items for which the owner is identified for a period of thirty (30) days after which said items will be disposed of. However, the Hotel will hold food products only for a reasonable period during which quality can be preserved after which said food products will be disposed of at the discretion of our Hotel.

The responsibility of our Hotel regarding the custody of the Guest's baggage or personal belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall conform to the provisions of the preceding Article, Paragraph 1 in the case of Paragraph 1 of this Article and to the provisions of the preceding Article, Paragraph 2 in the case of the preceding Paragraph.

Article 22 Liability of the Guest

The Guest shall be liable to compensate our Hotel for any damage suffered by our Hotel arising out of the intentional acts or negligence of the Guest.

Article 23 Disclaimers

Our Hotel assumes no liability for damages resulting from the loss or destruction of, or damage to the articles of the Guest occurring within the common areas of the Hotel.

Our Hotel assumes no liability for any trouble between the Guest and our Hotel guest or any damage and the like caused by other guests and users of the Hotel.

Please be aware that the Guest is liable for any use of computer communication services from within our Hotel. Our Hotel cannot be held liable for any possible damage that may be caused by a system failure or any other reasons while the computer communication services are being in used. In addition, the Guest may be required to compensate our Hotel and third parties for any possible damage caused by acts that our Hotel judges to be an inappropriate use of our computer communication systems.

Article 24 Handling of personal information

Personal information disclosed by guests will be applied to the hotel, asset advisors, affiliated companies and contract management companies. It is obtained for compliance with the law and is used within the scope of this purpose. In addition, all or part of personal information may be provided to the Hotel Group for this purpose.

Article 25 Jurisdiction and Governing Law

Any dispute that arises regarding this agreement shall be resolved in accordance with Japanese law in the Japanese court having jurisdiction over the location of the hotel.

Article 26 Cancellation Charge (Ref. Paragraph 2 of Article 7)

Cancellation charges shall be calculated as follows depending on the details of the reservation.

① If the number of guests is 9 or less

Penalty of 100% of the accommodation fee will be applied from 1 (one) day prior to the first accommodation day or in case of no show.

② If the number of guests is 10 or more

Penalties will be applied as per the below details:

• From 7 to 4 days prior to the first accommodation day : 50% of the accommodation fee

• From 3 days prior to first day of accommodation day or no show : 100% of the accommodation fee

1. The percentage figure indicates the proportion of the cancellation charge in relation to the total amount of the accommodation charges.

2. In case the length of a stay has been shortened, the cancellation charges indicated above shall be applied to the number of days shortened regardless of the total number of days shortened.

3. When the applicable accommodation charges have been revised as a result of the length of a stay having been shortened during the term of the accommodation contract, then the revised charges shall be applied retroactively from the first day of the accommodation contract and the Guest will be charged the difference.

4. If separate cancellation charges have been indicated by the accommodation reservation website or for a particular accommodation plan, etc., then those charges shall be applied preferentially.